

病状説明書

- ・ 現在のあなたの病状は **アルコール依存症** です。長期間アルコールを摂取したことにより、脳・神経・肝臓がやられており、アルコール性の神経障害・肝障害、コルサコフ脳症を起こしています。
 - ・ 治療は**アルコールをやめること**がまず第一です。
 - ・ アルコールを中止することなしには治療はできません。
 - ・ このままアルコールを続ける場合には、数年以内に死に至る可能性が強いと思います。現在生じているさまざまな症状もさらに強くなっていくものと思われます。
 - ・ **アルコール依存症の治療は 基本的に精神科で閉鎖病棟にて行なわれます** (飲みたい気持ちとアルコール禁断症状が激しいため)。ただし、あなたの場合は アルコールによる内臓障害がかなり強くでているので、精神病院への入院も難しいと思われます。
-
- ・ **当院には閉鎖病棟がない**ために、アルコール依存の治療は難しいと思われます。もし当院での入院を希望される場合は、通常以上に患者さんの協力が不可欠となります。
 - ・ アルコール依存状態で治療される場合、患者さんの多くは、いらいらしたり怒りっぽくなったり、指示に従えないことがほとんどで、通常の診療行為が難しいのですが、当院の現在の体制では、そういう状態には対応できません。
 - ・ アルコール依存症は基本的には内臓の病気ではなく、アルコールを飲むという個人の自由意思に関係した病気です。当院で治療を行なうのであれば、さまざまな不愉快なこと、およびあなたの意に沿わない当方からの指示に従っていただく必要があります。
 - ・ 下記が約束できなければ、当院では治療ができません。
- ・ **私は 二度と酒を飲みません。**
 - ・ **退院したら精神科に通院することを約束します。**
 - ・ **入院中、医師や看護師の言うことを守り、また勝手に出歩いたりしません。**

以上の説明を受けました

説明者 科

年 月 日